

議 題	1 開会 2 議題 （1）作業部会での意見交換まとめの確認について 3 その他
日 時	平成27年6月23日（火） 11時から12時まで
場 所	茅ヶ崎市役所本庁舎7階 大会議室A
出席委員氏名	山口委員、藁品委員、宇野委員
事 務 局	企画経営課 菊地課長補佐、渡辺主任 産業振興課 道の駅整備推進担当 横溝担当課長、須田副主査、島崎主任
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名
非公開の理由	—

## 1 開会

## 2 議題

### （1）作業部会での意見交換まとめの確認について

#### ○宇野委員

ゴルフ場周辺のキャッチコピーについて、ビーチ・海浜・景観ゾーンとしていたが、マリンスポーツ的な意味合いも欲しい。海浜は全エリア共通のため、いらぬのではないか。あの場所はパドル大会も既に行なわれているし、前回ホテルの話も出たので、それも含めて、マリレジャー、ビーチレジャー等の言葉が良いだろうか。

#### ○山口委員

柳島でアクションプランのことを記載しているので、漁港のところはグランドプランを記載してほしい。全体会議のときにこのエリアはグランドプランがあるということを伝えたい。

また、連携については、西浜駐車場とグランドプランのA地区の未占用地との連携をすることによって効果がでる旨を具体的に記載したほうが良い。

#### ○宇野委員

D地区で費用を得て、海岸保全整備に活用するとあり、まったくそのとおりだが、D地区に限らず、資金を得てお金を中でまわすことで保全ができる。自然を保全するためにも資金が必要である。そのためには資金を生み出す仕組みが必要ということを伝えたい。D地区に限った話ではないため、共通事項に記載する。行政に限らず民間資金も含めての話である。進んでいない計画が資金を理由とするならばお金を中で回す仕組みが要になってくる。

#### ○藁品委員

まったくそのとおりで、運営資金を回収できる体制づくりは絶対に必要になってくる。市の施設利用料金は受益者の負担価値よりも低価なものが多い。

#### ○宇野委員

例えばお金を回して、歩道に並木をつくり、それを海まで繋げる。そうするだけで全然イメージが違ってくる。そういったことが伝わるようにする。プランばかりできていても実行できないという流れが多い。それはお金が課題であることが多い。だからお金を回すことは非常に重要である。お金がなくて廃れていくビーチが多いが、例えばスポンサーをつけて、スポンサーの製品等を置いて、その資金を整備に当てていくようなイメージがほしいということ。

#### ○藁品委員

開発についても、そういった視点で考えていけば、もっと多くの手法が出てくると思う。どうしたら運用資金が出てくるか、関係者を納得させられるかを重視すれば実現可能であると思う。

#### ○山口委員

場所によってはそういったところをしっかりとやっている自治体もある。

ゴルフ場のところについてだが、今はゴルフ場であるから賃料が発生しているはずである。それでも負担が大きいため売却するという。これを県が公有地のまま利用すれば賃料は発生しない。この会議でこのエリアの話について半分くらい残すということも話してきていたが、それはそれで良いと思う。ここで賃料を稼がないといけないということではない。私の中ではここは公有地にすべきだということを思っている。

#### ○藁品委員

公有地の中でこういった民間への貸付等のアイデアを検討していくことができる。民間を入れることで固定資産税やそこで消費税の収入が上がる等のメリットがある。ただ維持費だけを支出することを考えてはいけない。

#### ○山口委員

市民が気軽に利用できるような回遊性があるパブリック性の高いゴルフ場にして、レストランのようなもの、スポーツ活性化するような施設を設置するイメージが良いのではないと思う。

#### ○宇野委員

住宅として売ってしまおうとなれば県にとっては採算性があるが、終わる話だが、それでは茅ヶ崎市として困ってしまう。カジュアルゴルフの話もしたが、行政が行なうとまた人件費等が負担になってしまう。だからホテル経営の事業者が経営するような形でいければ良いと思う。ただホテルにとって採算があうかという問題もある。茅ヶ崎市としてあの場所は広域避難場所として非常に重要な場所であるからそれは残したい。マリンスポーツの話もしたが、そちらで資金を生み出して、それを運営費に充てるなどの工夫ができる。結局資金の巡りを考えるということ。

#### ○藁品委員

お金を生む仕組みを考えると行ったが、運営費を生む仕組みと表現を統一する。

#### ○宇野委員

漁港付近のキーワードでリラックスとあるが、これはビーチのこと。グランドプランが進めばこのキーワードがより生きてくる。またキャッチコピーについて、茅ヶ崎こそ湘南、という言葉はちょっと失礼にあたってしまう。どこも湘南であって周辺もみんな同じことになってしまうと余計バラバラになってしまう。そうではなく、湘南の情報発信の拠点になれば良い。

○藁品委員

アクションプランもグラウンドプランも、これを中心に進めていけば、一番効率的である。柳島周辺はアクションプランは既にここの役割の50パーセントくらいの内容が書かれている。

○山口委員

グラウンドプランは90パーセントくらいのもが書かれている。

○宇野委員

ゴルフ場周辺のゾーンの名前はマリンレジャー・景観とする。

○山口委員

漁港周辺ではグラウンドプランを進めていくということも記載をする。また漁港周辺のところはグラウンドプランで90パーセントくらいの内容が書かれていること、グラウンドプランは政策決定していることも記載して欲しい。

○それと、漁港周辺のA地区の整備と連携を図るとしているところをA地区の未占用地とD地区の連携を図ると修正する。

○宇野委員

表現を、運営費を得て、海岸保全美化等の整備に活用する、と直し、資料を右上に記載する。またゴルフ場周辺については、県に土地を持ち続けてもらい、又は市に払い下げ、一部にホテルやマリンレジャーの施設を設ける。

○藁品委員

ゴルフ場周辺は、民有地か公有地で考え方が変わるということの中に入れたほうが良い。

○宇野委員

サザンビーチの方が人は多そうだが、実はボードウォークのほうも非常に多い。ここに人が集うと言ってもわからない人が多いと思うから、表現をビーチとしたほうが良い。ビーチでは既に人々が和んでおり、そしてマリンレジャーも既に盛んに行なわれている場所となっている。それを補完する設備も必要。

また漁港周辺について、フィッシャーマンズマーケットに修正する。運営費を生む仕組みの部分で、お金をサイクルさせることを伝えたい。運営費を美観に充てるだとちょっと弱い。

○事務局（産業振興課）

今の話だと、資金を生んでサイクルさせ、美化に活用するというを右上に記載する。

○山口委員

作業部会の議論がたくさん書かれているから、資料を見たときに様々な意見が羅列してしまっている。簡単に分類した方が良い。

○宇野委員

キャッチコピーについて、茅ヶ崎こそ湘南を消して、実行あるのみを強調するようにする。

○山口委員

主役はビーチも強調してほしい。

○宇野委員

資金のところについても一度確認したい。

○事務局（産業振興課）

資金を生み、サイクルさせ、海岸保全・美化に活用する、としている。

○宇野委員

まちづくりに活用するシステムをつくる、とする。

○事務局（産業振興課）

まとめると、資金を生み、サイクルさせ、海岸保全・美化・まちづくりに活用するシステムをつくる、となる。